

令和2年度 園評価

こども園における教育及び保育は発達の連続性を考慮した教育及び保育であること

評価段階（A：大変良い B：まあまあ良い C：あまり良くない D：全く良くない）

I.経営の重点に関わること

大項目	評価指標	評価	取り組み状況
重点目標 ・主体的に 行動できる 子	生活や遊びの中でわくわくした 気持ちを持つ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添い、遊びを予想し、わくわくするように環境設定する ・子どもたちが自分で選び、自由に活動するように、声掛け、援助を心がける
	主体的に活動 する	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに共感し、一緒に考え子どもの行動を見守る
	健康でたくましい体づくりを する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢（発達段階）にあった運動遊びを行う ・給食を楽しんで食べる雰囲気づくり、休息をしっかりとるようにする

II.施設の機能に関わること

大項目	中項目	評価指標	評価	取り組み状況
安全管理 指導	事故防止 防災	避難訓練や防災訓練 を通して、非常時にお ける意識や安全な行 動を身につけるよう にしている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練時は、想定を基に避難がスムーズにできるように意識を持ち行動をする ・子どもに分かりやすく訓練の説明をする
保健管理 指導	健康教育 の充実	基本的な生活習慣や 挨拶を身につけ、心身 共に健康な生活をし ている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員自ら挨拶をし、子どもの手本となる ・簡単な言葉を伝えたり、挨拶の意味を話し合い自身につなげる ・個々に寄り添いながら、関わる
組織運営	組織体制 の充実	全職員が組織の一員 として役割を自覚し、 責任をもって取り組 んでいる	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に任された係は責任を持ち、行う職員間で協力し合う ・園全体を把握できるように心がけた

研修	研修体制の充実	園内研修で学び合いながら保育の質や専門性の向上に努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は殆どリモートとなったが積極的に参加をした ・内部研修は、講師のDVDを取り入れたり、少人数での研修を行った ・研修内容は日頃の教育保育に取り入れ実践を行う
教育保育環境整備	教育保育環境の充実	季節を感じたり、発達に応じた遊びが出来たりする環境やこどもが主体的に活動出来る環境が用意されている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様子を把握し、必要なものを取り入れていく ・発達や季節に合ったものを取り入れる ・子どもたちがやりたい気持ちを出来るだけ尊重するようにした
家庭との連携・協力	家庭教育への支援機能の充実	お便りや掲示などで子どもの様子を伝え、子どもの成長の喜びを共有出来る	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラスだよりを毎月発行 ・給食からの便り発行 ・行事の様子だけではなく日頃の様子も写真で取り掲示物を増やした ・動画配信で保護者に日常の様子を知らせる
地域との連携	信頼される園づくりの推進	地域の様々な人やもとの交流を通し、園だけではできない体験ができる機会を持っている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の為、地域への訪問交流は出来なかった ・おしゃべりサロンも中止 ・園庭開放は前半中止、11月から開始した ・地域への情報誌は例年通りに配布した

園から 成果と課題

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自ら行動をし、わくわくする気持ちを持って遊ぶことが出来るように、室内や園庭を保育教諭が意識して環境を考え行っていた事で、子どもたち同士で話し合う姿が見られるようになった。 ・遊んでいる時に、異年齢が一緒になっていたり、声を掛け合い遊んでいる
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も継続をして、子どもたちが主体的に遊びを取り入れられるように、園全体で同じ意識を持ち進めていく ・自分の意見が言えない子に対しての支援方法を考える ・コロナ禍がまだ続く事を踏まえて、行事のやり方を検討し、出来るようにしていく